

別紙1 年間を見通したいじめ防止指導計画について

いじめの未然防止や早期発見のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの問題に取り組みます。

	項目	時期
児童が主體となつたいじめ防止活動	<input type="checkbox"/> 異学年（たか・ザ・キッズ）交流活動の実施 <input type="checkbox"/> 学級活動での話合い活動の実施 <input type="checkbox"/> 縦割り清掃活動の実施 <input type="checkbox"/> ボランティア活動の推進 <input type="checkbox"/> あいさつ運動 <input type="checkbox"/> 球技大会 <input type="checkbox"/> 運動会の応援	7月中旬、12月中旬 毎月1回 通年 通年 通年 6月 9月～10月
教職員のが主體となつた活動	<input type="checkbox"/> 一人一人の実態に応じたわかる授業の展開 <input type="checkbox"/> 職員相互の授業研究会の実施 <input type="checkbox"/> 教育相談週間の設定	通年 6月～12月 6月、10月、1月
措置となつた活動	<input type="checkbox"/> 教科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間等を中心とした道徳教育や情報モラル教育の時間設定 <input type="checkbox"/> 外部講師による情報モラルの授業 <input type="checkbox"/> P T A総会での学校の方針説明 <input type="checkbox"/> 学校通信を活用したいじめの防止活動の報告 <input type="checkbox"/> 学校公開（オープンスクール）の実施 <input type="checkbox"/> 保護者を対象とした研修会の開催	年4時間 ※ 教科(単元計画に基づく) 年1回 4月 学期1回 10月 8月
いじめの早期発見の措置	<input type="checkbox"/> 児童生徒の発する具体的なサインの理解と共有 ※別紙2、3参照 <input type="checkbox"/> 教育相談週間の設定 <input type="checkbox"/> 学校独自のアンケートの実施 <input type="checkbox"/> 県下一斉のアンケートの実施 <input type="checkbox"/> 職員会議での情報の共有 <input type="checkbox"/> 進級時の情報の確実な引き継ぎ <input type="checkbox"/> 過去のいじめ事例の蓄積	通年 6月、10月、1月 毎月 12月 通年 通年 通年

※ 計画を作成するに当たっては、教職員の研修や児童生徒への指導、地域や保護者との連携などに留意し、総合的にいじめ対策を推進していきます。

別紙2

1 いじめられた児童のサイン

いじめられた児童は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	点検	サ イ ン
登校時 朝の会		遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 体調不良を訴える。 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中		保健室・トイレに行くようになる。 教材等の忘れ物が目立つ。 机回りが散乱している。 決められた座席と異なる席に着いている。 教科書・ノートに汚れがある。 教職員や児童生徒の発言などに対して、突然個人名が出される。
休み時間等		給食にいたずらをされる。 給食時にグループを作る際、周囲の机と離されている。 用のない場所にいることが多い。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 一人で清掃している。
放課後等		慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。 一人で下校していることが多い。

2 いじめた児童のサイン

いじめた児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

点検	サ イ ン
	教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。 ある児童だけ、周囲が異常に気を遣っている。 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。

別紙3

1 教室でのサイン

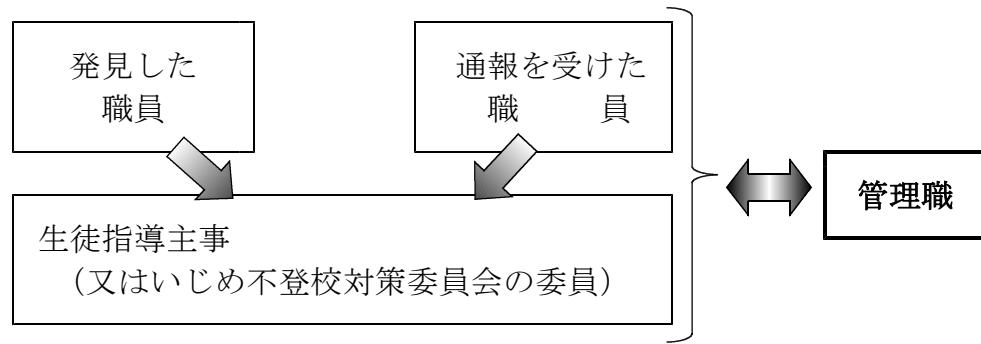
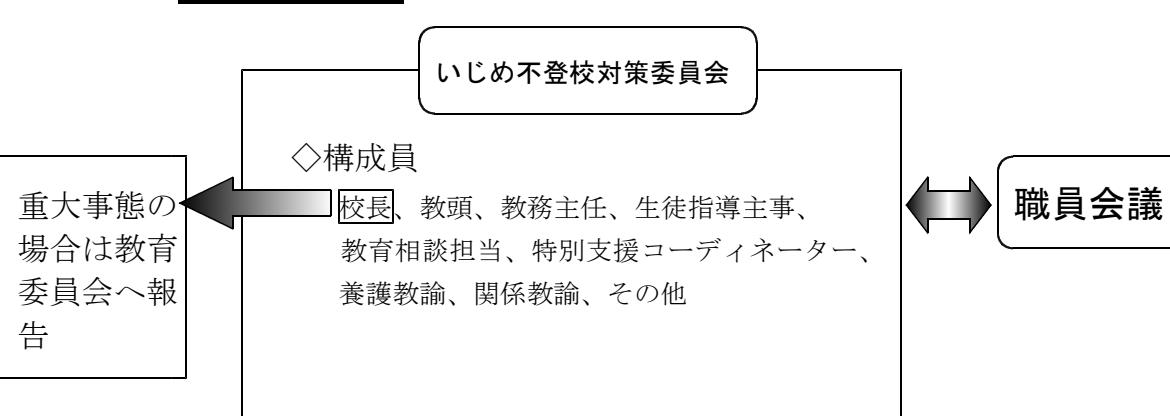
教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

点検	サイン
	<p>嫌なあだ名が聞こえる。 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 何か起こると特定の児童の名前が出る。 筆記用具等の貸し借りが多い。</p> <hr/> <p>壁等にいたずら、落書きがある。 机や椅子、教材等が乱雑になっている。</p>

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

点検	サイン
	<p>学校や友人のことを話さなくなる。 友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断つたりする。 受信したメールをこそぞ見たり、電話におびえたりする。 不審な電話やメールがある。 遊ぶ友達が急に変わる。 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。</p> <hr/> <p>理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。 食欲不振・不眠を訴える。</p> <hr/> <p>学習時間が減る。 成績が下がる。</p> <hr/> <p>持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 自転車がよくパンクする。 家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。</p>

ア いじめの発見・通報を受けたときの対応イ 情報の共有ウ 調査・事実関係の把握保護者
情報
支援
提供児童
指導
支援エ 解決に向けた指導及び支援オ 関係機関への報告カ 継続指導・経過観察

いじめ不登校対策委員会を中心とした実施

学

校

情報提供
支援犯罪行為の
通報・対応

連携

連携

教育委員会

警察署

地 域

関係機関(福祉・医療等)